



このたび、札幌宮の森美術館では「粟津潔展－思考する眼差し、絵画するイメージ」を開催いたします。

粟津潔 1929年東京目黒区に生まれ17歳の頃から絵を描き始めますが、技術の習得はもっぱら美術雑誌の模写や電車内での人物デッサンなど独学によるものでした。やがて左翼運動に没入、生活のためにキャバレーの壁画やパチンコ台の裝飾画などを手掛けるようになります。1954年、独立映画社宣伝部の嘱託となりチラシの下書きやポスターの制作に携わると、すぐ翌年の1955年には、漁民による米軍基地反対闘争のためのポスター「海を返せ」で日本宣伝美術会日宣美賞を受賞、以来、粟津は日本を代表するアーティストとして国際的な舞台で活躍、その旺盛な好奇心はデザインにとどまらず、絵画、彫刻、写真、映画、舞台、建築、環境、と無数にその触手を伸ばして行きました。

造形する、美術、デザインするというは、自由な精神の奥底に眠っているものを起して、作品というモノをつくりだす仕事である。その言葉どおり、一点の絵画作品とも言える彼のグラフィック・ワークやデザインには、自由で大胆な発想とともに奥深い精神性を見ることが出来ます。昨年末から金沢21世紀美術館で開催された大規模な展覧でも新たな世代のファンを獲得し、同時代的な評価の機運が高まる今、ひとりのデザイナーと呼ぶにはあまりにも多岐に亘るマルチな才能の一端をご紹介します。

展示内容：①思考する眼差し ②絵画するイメージ I-III

絵画、版画、立体、写真、ポスター、印刷原稿、著作、ブックデザインなど計150点以上 第一部の「思考する眼差し」ではアトリエ風にしつらえた空間に印刷原稿や写真、ブックデザインなどを展示 作品集や著作などの閲覧も可能です。



粟津潔年譜

1929年/東京都目黒区生まれ。1946年/法政大学産経学科専門部を退学。この頃から独学で絵を書き始める。1955年/ポスター「海を返せ」で日本宣伝美術会日宣美賞を受賞。1958年/「世界フィルムポスター・コンテスト」(パリ)で最優秀賞を受賞。1960年/黒川紀章、菊竹清訓、横文彦らの「メタボリズム」に参加。1964年/武蔵野美術大学造形学部産業デザイン科の助教となる。1970年/「ワルシャワ国際ポスター・ビエンナーレ」で銀賞、特別賞を受賞。1973年/装幀コンクールで通産大臣賞を受賞。寺山修司監督「田圃に死す」の美術を担当。1978年/「ガウディ展」を企画、開催。「粟津潔作品集」を講談社より刊行。1980年/藤田正浩監督「夜叉ヶ池」の美術で日本アカデミー賞を受賞。1984年/「粟津潔展」(ラフォーレ、東京)を開催。1988年/川崎市民ミュージアム建設委員に就任。1992年/個展「KIYOSHI AWAZU:ARTIST AND DESIGNER」を開催(日米文化会館、ロサンゼルス)。1993年/「粟津潔展 1949-1993」(川崎市民ミュージアム、川崎市)を開催。1997年/ポーランド共和国4都市国立美術館(ワルシャワ、クラコフ、プロツォフ、ポズナニ)にて回顧展を開催。2001年粟津と凸版印刷株式会社が「印刷博物館」の開設で毎日デザイン賞・特別賞を受賞。2003年/国際芸術センター青森で「粟津潔展」開催。2007年/金沢21世紀美術館にて「粟津潔展－荒野のグラフィズム」開催。

イメージフォーラム・フェスティバル2008で粟津作品上映

実験映画、アニメーション、ドキュメンタリーなど、国内外の優れた映像作品を集め日本各地を巡回する映像アートの祭典「イメージフォーラム・フェスティバル2008」。今年は札幌宮の森美術館が共催として全面参加、アンディ・ウォーホル60年代の貴重な16ミリ映画の特集や、アーティスト・田名網歌一氏によるトークに加え、粟津潔の映像作品「風流」(1972)も上映されることが決まりました。

開催日：2008年10月8日(水)～12日(日)
開催時間：①10:00～ ②11:30～ ③13:45～ ④16:00～
※開催日によって異なります

会場：北海道立近代美術館
主催：札幌宮の森美術館、北海道立近代美術館、北海道新聞社、イメージフォーラム

80タイトルを超す全てのプログラムが鑑賞できてたったの1,500円! しかも「粟津潔展」の特別観覧券まで付いたお得なフリーパスは、美術館で販売予定です。



粟津潔

◇関連イベント

■映像作品公開+ギャラリートーク

日時：9月5日(金) 19:00～
会場：札幌宮の森美術館
ゲスト：粟津潔 聞き手：長澤章生
参加費：無料

■ワークショップ みんなでつくろうグラフィズムTシャツ

日時：9月5日(金) ①18:00～②20:00～
会場：札幌宮の森美術館
予約限定 50名
参加費：1,000円 (Tシャツ代、プリント代を含む)

■映像作品公開+ギャラリートーク

日時：10月10日(金) 19:00～
会場：札幌宮の森美術館
ゲスト：田名網歌一 聞き手：長澤章生
参加費：無料

※イベントは申込が必要です。定員になり次第締め切らせていただきます。
お申込みは美術館宛て
E-mail またはお電話にてお申し込みください。
E-mail: event@mijanomor-art.jp



粟津潔展

思考する眼差し、絵画するイメージ

2008年9月5日[金]→11月3日[月]

開催時間：11:00～19:00

休館日：月曜日(祝日の場合は翌平日)

観覧料：一般500円 高大生300円 中学生以下無料

主催：札幌宮の森美術館 TEL (011)612-3562

札幌市中央区宮の森2条11丁目2-1MMG

後援：札幌市 札幌市教育委員会

企画：NPO法人CAPSS(芸術文化事業支援機構)

詳しくは <http://www.mijanomor-art.jp>

札幌宮の森美術館

MIYANOMORI ART MUSEUM

札幌市中央区宮の森2条11丁目2-1MMG

TEL 011-612-3562

■交通案内

JR 札幌駅より車で10分

地下鉄東西線 円山公園駅より車で4分 徒歩18分

JRバス 円山公園駅2番出口 バスターミナルより

・円14 荒井山線「宮の森シャンツェ前」行きバス乗車、

「宮の森1条10丁目」下車 徒歩3分

・円15 動物園線「円山西町2丁目」行きバス乗車、

「宮の森1条10丁目」下車 徒歩3分

